

「子供たちは……」希望叶えたい

「子供たちは……」希望叶えたい。職
 かなあ。地域福祉センターが「センターの生き字引」
 仁佐(福山市木之庄町4)で、という細井さんは「自分でも
 介護サービスを受ける細井裕
 昭さん(90)の最近の口癖だ。
 センターなどによると、細井
 り彦。85歳になった12年10
 月からはセンターの利用者
 に。認知症に加え、がんも診
 断され、言葉を失くし、言葉が
 増えてきた。「もう一度、学
 校に行けば、生活に張りがで
 るかもしれない」。担当の介

尾道・浦崎中 立志式に出席

元先生学び舎「帰る

「自らの心に真つ正直に誠実に生き、高い志を胸に大きく羽ばた
 いていきます」。尾道市立浦崎中(小原正盛校長)で20日に開かれ
 た立志式。誓いの言葉を述べる男子生徒の姿を、会場後方から見つ
 める豊椅子の男性がいた。「認知症になっても、希望は叶えてあげ
 たい」。介護福祉士や学校関係者の計らいで、「先生」はこの日、
 職場に帰った。
 【松井真人】



⑬在籍時の卒業アルバムを見る細井さん⑭立志式が始まる体育館
 で、並んだ生徒たちの方向を見つめる細井さん
 ⑮いづれも尾道市立浦崎中で

介護士や関係者ら企画

護福祉士、田中三千代さん、井さんの姿があった。
 ⑬らが、かつて勤めた学校、式にあった体育館は38年前
 に遷移を取り、1977〜80の
 年ごろ赴任した浦崎中から立
 志式の誘いを受けた。式當日、校長室を訪ねた細
 井さんに、小原校長は当時の
 卒業アルバムを見せた。「先
 輩は美術部の顧問も務めて、
 結構厳しい先生だったそう
 ぞ。校舎は建て替えられて
 新しくなっていたが、廊下の
 壁に貼られたモノクロ写真ら
 校には、黒縁眼鏡をかけた細
 井さんの姿があった。式にあ
 った体育館は38年前のまま。
 2年生20人を代表して、
 豊田卓斗さん(14)が「郷
 土・尾道の発展に尽くしてい
 く」と述べ、小畑さくらさん
 (13)らが将来の理想を語り上
 げた。保護者席の後方で前を
 向いて聞いていた細井さんは
 「緊張したところ話し、こ
 んごらほ」とあいさつして通
 り過ぎる生徒の姿を見送っ
 た。「先生の養育になってま
 したね」。小原校長の評だ。